

○米田貴志委員長

ただいまから予算常任委員会を開会いたします。

本委員会に付託されました事件は、御配付しております付託事件のとおりです。

まず、議案第34号の審査に入ります。

議案の説明を求めます。

○寺本義之財務部長

議案第34号令和7年度岸和田市一般会計暫定予算について御説明いたします。

本案は、暫定期間を本年4月から5月までと定めた予算案としております。

予算書の3ページをお願いいたします。

まず第1条では、暫定予算の総額について、歳入予算を186億639万9000円、歳出予算を300億5613万5000円と定めております。

第2条では、継続費の経費の総額及び年割額を定めております。

第3条では、債務を負担することができる事項、期間及び限度額を定めております。

第4条では、一時借入金の借入れの最高額を50億円と定めております。

第5条第1号は、各項に計上いたしました報酬、給料、職員手当等及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合、同一款内での流用ができることを定めてございます。

5ページをお願いいたします。第1表歳入歳出暫定予算について御説明いたします。

まず、歳入予算につきましては、1款市税は、1項から6項まで合わせまして51億2496万6000円の計上です。

10款地方特例交付金は9935万円の計上です。

11款地方交付税は38億円の計上でございます。

13款分担金及び負担金は、1項、2項合わせて7058万2000円の計上です。

14款使用料及び手数料は、1項、2項合わせて2億2225万6000円の計上です。

15款国庫支出金は、1項から3項まで合わせて69億2776万9000円の計上です。

16款府支出金は、1項から3項まで合わせて16億9338万4000円の計上です。

17款財産収入は9274万9000円の計上です。

6ページをお願いします。18款寄附金は1億3200万円の計上です。

21款諸収入は、1項、2項及び5項合わせて4億4334万3000円の計上です。

以上、歳入合計186億639万9000円の計上となります。

7ページをお願いします。歳出予算について御説明いたします。

1款議会費は7779万1000円の計上です。

2款総務費は、1項から6項まで合わせて32億4032万8000円の計上です。

3款民生費は、1項から4項まで合わせて128億2651万3000円の計上です。

4款衛生費は、1項から5項まで合わせて43億2107万5000円の計上です。

5款労働費は1189万7000円の計上です。

6款農林水産業費は、1項から3項まで合わせて2億5507万9000円の計上です。

8ページをお願いします。7款商工費は2億8347万6000円の計上です。

8款土木費は、1項から8項まで合わせて35億2429万7000円の計上です。

9款消防費は4億4202万円の計上です。

10款教育費は、1項から7項まで合わせて48億2517万2000円の計上です。

11款災害復旧費は1000円の計上です。

12款公債費は1億9948万1000円の計上です。

13款諸支出金は、1項、2項合わせて900万5000円の計上です。

9ページをお願いいたします。14款予備費は4000万円の計上です。

以上、歳出合計300億5613万5000円の計上であります。

10ページをお願いいたします。第2表継続費につきましては、土地改良施設整備事業につきまして、総額及び年割額を定めてございます。

11ページをお願いします。第3表債務負担行為については、例規システム業務委託から大阪広域水道企業団岸和田水道センターの企業債借入先である近畿産業信用組合に対する損失補償までの3件につきまして、期間及び限度額を定めております。

○米田貴志委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

○西田武史委員

私から数点確認させていただきます。

まず、予算書103ページの情報公開事業のところで伺いさせていただきます。今回質問させていただきたいのは窓口手数料のキャッシュレス化についてなんですけれども、これは多岐にわたりいろんな部署が関わっているというような観点から、まず103ページの情報公開事業のところで質問させていただきます。

今回、暫定予算ということでかなり削減されて、トータルで1万9000円だけの計上というような形になっているんですけれども、その辺の削減した算出方法というか、その理由をお伺いいたします。

○谷口英樹総務部長

窓口手数料のキャッシュレス化につきましては、委員御指摘のとおり複数の事業にわたっておりますので、IT推進課を所管する総務部よりお答えさせていただきます。

窓口手数料のキャッシュレス決済は、QRコードを窓口を設置して決済するタイプのものと、POSレジ機能付きの機器、これらの機器を窓口を設置して決済するものの2種類ございまして、当初よりQRコード決済に関しましては令和7年4月からの

導入、レジ機器等を設置するものは6月以降の導入で計画しておりました。

4月から着手するQRコードを窓口に設置するタイプのものは、比較的件数の少ない利用料や手数料を取り扱う窓口で導入するもので、9課の事業において、手数料の2か月分を暫定予算として計上しております。対応するキャッシュレス決済は、決済回数のシェアが約3分の2を占めるPay Pay株式会社が提供する決済サービスを利用する予定をしております。

6月以降に着手を予定しているレジ機器等を設置するものにつきましては、比較的件数の多い利用料や手数料を取り扱う窓口7課でのキャッシュレス決済に対応するものでございます。機器等の設置に伴い、QRコード決済に比べて経費はかかりますが、クレジットカードやスマホコードの決済など、より多くの種類のキャッシュレス決済に対応できるものでございます。

これらの経費につきましては、導入が6月1日以降の予定であるため、今回の暫定予算には計上しておりません。

○西田武史委員

今回の窓口手数料のキャッシュレス化は、利用料や手数料の支払いのときに市民の皆様にご利用いただけるものであるというふうに考えております。事業を進めるに際して、比較的件数の少ないものと多いものに分けて、少ないものは導入費用のかからないPay PayのQRコード、多いものはキャッシュレス決済を利用できる機器の設備を進めるという手法は理解できました。ただ、導入費用なしでできるのであれば、件数の多いところもその機械が入るまでの間、せめてこのQRコードだけでも置くべきではないのかなというふうには感じました。

まずはPay Payを進めるということ

ですけれども、P a y P a y 以外でもいろんな業者のツールがあるかと思うので、まずP a y P a y で進めるにせよ、今後、そういう形でいろんな事業者のやつを使えるような形で拡充できるような取組を進めていただきたいなというふうに思います。

次に、同じく103ページのシティセールス推進事業についてお伺いいたします。

6月以降の実施のために、今回、岸和田市のイメージアップ事業について、6月以降に入れるという意味合いで暫定予算には多分計上していなかったと思うんですけれども、この辺の考えをお伺いします。

○西川正宏総合政策部長

本事業は、まちミーティングの実施や岸和田の魅力情報発信に関する講座の開催、動画・フォトコンテストの開催などを予定しておりましたが、事業の実施の形態としては業務委託を考えておりまして、事業着手が6月以降の実施予定でございましたので、今回の暫定予算には計上しておりません。

○西田武史委員

もう皆さんも感じておられるように、以前に比べると、かなり岸和田市のイメージってというのが今、非常に悪くなっているのが現状で、以前の考え方のイメージアップよりもさらに大きくイメージアップを図らんとあかんのではないかなというふうに今考えている状況であります。

今後、新市長の意向を反映したイメージアップ戦略というのをされると思うんですけれども、市長の意向をどのように取り込もうというふうに考えておられますか。

○西川正宏総合政策部長

本事業につきましては、事業内容などを新市長に対して説明し、事業の見直しも含めて新市長の意向を伺っていきたいと考え

ておるところでございます。

○西田武史委員

とにかくよろしくお伺いいたします。

次に、岸和田市版のスマートシティ構想の推進についてお伺いいたします。

当初予算では1444万3000円、骨格予算では1129万5000円、今回、暫定予算で505万円になっておりますけれども、この内訳と理由をお願いいたします。

○西川正宏総合政策部長

スマートシティ構想関連の505万円につきましては、まずスマホ教室分で400万円を予定しております。こちらは、年度初めに入札して、7月から開催予定でございますので、1年分ということで計上させていただいております。

その他の分につきましては、スマートシティ推進協議会に御協力賜っております学識経験者の報償金が、まず1年分のうちの5月、6月に来ていただく分として報償金5万円、それから、スマートシティ推進協議会で実証等をしようとしているところなんですが、現在、実証に向けて動いている部会が3つございます。健康、観光、防災、これらの部会を動かしていくための予算、それから、協議会の運営支援委託を行っておりまして、その4月・5月分と合わせまして100万円ということで、合わせて505万円でございます。

○西田武史委員

そしたら、未計上の624万5000円はどういう形になっているんですか。

○西川正宏総合政策部長

そちらについては、当然、本格予算のときに計上させていただく、もしくは補正対応させていただくということでございます。

○西田武史委員

分かりました。

そしたら、次に、183ページの教育・保育

施設運営支援事業の中で、民間保育施設等の保育士確保についてお伺いいたします。

今回の暫定予算が265万6000円の内訳と理由、それから削減額の内訳と理由をお伺いいたします。

○大西謙次子ども家庭応援部長

まず、骨格予算の内訳から御説明させていただきます。

この予算につきましては、保育士を確保したいという思いから、保育士への支援などの予算を組んでおりまして、まずは保育士等の就職フェアで、毎年浪切ホールで行っておりますけれども、それにかかる経費として事業委託料が220万円、関連事務費が10万円、広告料が10万円、会場使用料が8万9000円の合計248万9000円となっております。残り100万円につきましては、潜在保育士を掘り起こしたいという思いから、キャリアリターン一時金として通年で100万円を計上させていただいております。

暫定予算に関しましては、2か月分ということでございましたので、このキャリアリターン一時金につきまして、100万円の2か月分相当を暫定予算として入れさせていただいております。

○西田武史委員

現在の保育士不足には欠かせない補助金の制度であるというふうに個人的には思っているんですけれども、一般的に春から新学期が始まるに当たって、そのタイミングでの補助金が大量に要るのではないかな、この2か月で割っていけるのかなという素朴な疑問があるんですけれども、その辺は対応できるんでしょうか、いかがでしょうか。

○大西謙次子ども家庭応援部長

このキャリアリターン一時金につきましては、年度当初だけにかかわらず、我々の思いとしましては、通年いつでも戻ってき

ていただきたいという思いから、通年予算として100万円を計上したものでございます。

○西田武史委員

はい、理解できました。ありがとうございます。

続きまして、225ページの水産業振興事業の中で、デジタル水産業戦略拠点整備の推進についてお伺いいたします。

当初予算で1億2055万3000円、骨格予算で237万4000円、暫定予算で38万4000円となっておりますけれども、この内訳と理由をお伺いいたします。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

こちらは、大阪・泉州広域水産業再生委員会と岸和田水産業戦略に関する連携協定を締結いたしまして、地域資源の価値や魅力を生かした水産業の振興、魚食教育の推進及び地域活性化の拠点形成等を公民連携で推進するために、阪南1区東部における下水道本管整備を行うため、その整備に係る測量設計業務230万円のうち、2か月で必要な事務経費を計上したものでございます。

暫定予算に計上しなかった1億2016万9000円につきましては、肉付け予算となった事業でございますので、新市長に事業の内容などを説明して、市長判断の下、予算計上してまいりたいと考えております。

○西田武史委員

よく分かりました。そしたら、次に行きます。

229ページの企業経営支援事業で3つ事業を確認させていただきます。

1つ目が伴走型ビジネスサポートセンターの設置運営についてですが、これが当初予算、骨格予算ともに1888万円、暫定予算で314万7000円となっておりますけれども、これの内訳と理由、それから未計上予算の1573万3000円の内訳をお伺いいたします。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

こちらの1888万円につきましては、主に人件費が約1330万円、賃借料や事務に伴う経費につきまして約550万円を見込んでございまして、今回、暫定予算としましては、4月、5月の2か月分に係る314万7000円を暫定予算として計上させていただいております。

残額につきましては、事業内容などを新市長に対して説明し、新市長の意向を確認の上、計上していきたいというふうに考えてございます。

○西田武史委員

今も御答弁ありましたけれども、このビジネスサポートセンターについては、いろんな流れで大きく変わりつつある状況ですが、これについても市長の意向が反映できるというようなことでよろしいですね。はい、ありがとうございます。

次に、企業立地促進事業の中のオフィス誘致補助金事業が当初予算では組み入れられていましたけれども、暫定予算でも骨格予算でも全くなしということになっておりますけれども、この理由をまずお伺いいたします。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

オフィス誘致補助金につきましては新規事業でございまして、骨格予算に計上せず肉付け予算となった事業でございまして、こちら新市長に事業内容などを説明し、市長の判断の下、予算計上してまいりたいと考えてございます。

○西田武史委員

市長の判断でということで理解しました。

次に、市内丸ごとラボ実証事業推進補助金について、この補助金が300万円から暫定予算で50万円になっておりますけれども、この内訳と理由、それから未計上の250万円の内訳をお伺いいたします。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

まず、市内丸ごとラボ実証事業推進補助金につきましては、経常経費として骨格予算として計上してございましたので、2か月分である6分の1を暫定予算として計上してございます。

残額につきましては、事業内容などを新市長に対して説明し、引き続き事業継承することを確認してまいりたいと考えております。

○西田武史委員

分かりました。

次に、観光振興事業で5事業ほど確認させていただきます。

まず、この中でフィルムコミッション事業も当初予算から骨格予算、暫定予算と全く計上がないんですけれども、この事業についてはどのようにお考えですか。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

フィルムコミッションの事業につきましても、骨格予算に計上せずに肉付け予算となったものでございますので、新市長に事業内容などを説明し、事業の可否を含め、市長の判断の下、予算を計上してまいりたいと考えております。

○西田武史委員

分かりました。

次に、城主体験宿泊プランについて、これも当初予算、骨格予算ともに816万1000円が計上されて、6月以降の実施のために暫定予算に計上していないというふうに理解しておりますが、この中身についてお伺いいたします。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

本事業につきましては、財源として観光庁の補助採択を目指しております。既に公募は開始されておまして、締切りが4月18日となっておりますので、事業開始が6月1日以降ということで、今回、暫定予算からは除外させていただいております。

こちらの実施につきましては、市長の判断により事業内容などを説明し、見直しも含め、意向を伺って進めてまいりたいと考えてございます。

○西田武史委員

分かりました。

次に、岸和田城のランタンフェスについても、同じく6月以降の実施ということで、暫定予算に計上されていないと思うんですけども、これについても伺います。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

先ほどの答弁の繰り返しとなって申し訳ございませんが、同じく観光庁の補助採択を目指しておる事業でございますので、締切りが4月18日でございますので、6月1日以降ということで、暫定予算としては計上してございませんが、新たに新市長に事業内容などの説明を行いながら、見直しも含め検討してまいりたいと考えてございます。

○西田武史委員

分かりました。

次に、プロモーション事業も当初予算、骨格予算ともに498万2000円、暫定予算で55万7000円になっておりますけれども、これの内訳と理由をお伺いいたします。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

暫定予算に計上しております55万7000円の内訳と理由でございますが、大阪・関西万博向けの着地型コンテンツ運営業務が48万円、大阪観光局とのデジタルマーケティング及びプロモーション事業が286万円の計334万円につきまして、当初予算2か月分の6分の1を計上してございます。

その後、6月以降につきましては、事業内容などを新市長に説明し、引き続き事業を継続することを確認してまいりたいと考えております。

○西田武史委員

次に、きしわだソウルフードコンテスト

については当初予算で400万円、骨格予算、暫定予算でゼロ円になっておりますけれども、この辺の内容について伺います。

○船橋恵子魅力創造部長兼農業委員会事務局長

きしわだソウルフードコンテスト事業につきましても、骨格予算に計上せず肉付け予算となった事業でございますので、新市長に内容などの説明を行いまして、その実施の可否も含めて市長の判断を仰いでまいりたいと考えております。

○西田武史委員

次に、255ページの広域幹線計画事業について伺います。

この中で広域交流拠点のまちづくり事業というのがありますけれども、当初予算、骨格予算ともに5343万円が計上され、暫定予算では3487万9000円になっておりますけれども、この内訳と理由、それから未計上の金額の内訳をお伺いいたします。

○奥野光好まちづくり推進部長

骨格予算につきましては5343万円の内訳であると思っておりますので、そちらについて説明させていただきます。

主なものとして、泉州山手線の延伸に係る土地境界測量等に要する費用のほか、山直東地区のまちづくりで必要となる委託料や土地購入費、都市再生整備計画事業の補助金を活用した公共施設整備負担金などでございます。

暫定予算の3487万9000円の内訳と理由でございますが、主なものとして、山直東まちづくり研究会への支援等に係る委託料、都市再生整備計画事業の補助金を活用した公共施設整備負担金、並びに既存道路の拡幅に要する土地購入費などでございます。これらは全て4月、5月に執行が必要なものでございます。

その他の旅費、需用費、役務費、使用料

及び賃借料などの経費につきましては、4月、5月の2か月分を計上してございます。

また、未計上の1855万1000円につきましては、6月以降の10か月分の経費でございます。

○西田武史委員

これについても新市長の意向というのは反映できる事業なのでしょうか。

○奥野光好まちづくり推進部長

残額につきましては、事業内容など、新市長に対して説明を行いまして、引き続き事業を継続することを新市長に確認いたします。

○西田武史委員

そしたら、次に行きます。263ページの公園施設改修事業の中で、都市公園バリアフリー対策についてお伺いいたします。

これも当初予算で7000万円が計上されて、骨格予算、暫定予算ともに計上しなかった理由をお伺いいたします。

○河畑俊也建設部長

担当課といたしましては、公園のバリアフリー対策は必要であると考えておりますが、新市長に対して事業内容などを説明し、新市長の意向を確認の上、進めてまいりたいと考えております。そのため、今回の暫定予算としては計上しておりません。

○西田武史委員

あくまでも新市長の考えで、やるかやれへんかということですね。

次に、287ページ、293ページ、297ページの小・中学校教材器具購入事業、読書活動事業の中で、学校図書館の充実事業についてお伺いいたします。

当初予算、骨格予算ともに7225万2000円が計上されて、暫定予算で1333万円と、がくんと下がっているんですけれども、その内訳と理由、それから未計上の5892万円2000円の内訳をお伺いいたします。

○藤浪秀樹教育次長兼教育総務部長事務取扱

今御質問ありました事業につきましては、学校図書館の蔵書数を増やしていくというのか、適正に更新も含めて増やしていくというものと、学校司書の配置を含めた事業になってございます。

それで、この内訳なんですけれども、年間を通じてかなりの冊数の予算を骨格予算では計上させていただいたんですけれども、全ての図書を一度に年度当初に買うというわけではございませんので、当初2か月間で、暫定の期間で図書を購入させていただける分を暫定予算として計上させていただいてございまして、残りの10か月分につきましては、補正なりとか本格予算の中で御審議いただいて、引き続き予算措置をお願いしようというふうに思っております。

○西田武史委員

子供の読書習慣というのは、学力向上のためには子供に読解力不足を解消するために読書をさせなあかんというのを、かねてから教育委員会も力を入れていたことだと思いますので、この辺は新市長の下でもっと効果的な、子供らに読書の習慣づけをできるような形の戦略なんかも検討しながら進めていっていただきたいなというふうに思います。

○西川正宏総合政策部長

申し訳ございません。先ほどの私のスマートシティ関連の御答弁の中で、委員報酬等が2か月分と御説明させていただいて、5月、6月と申してしまいました。正しくは4月、5月でございます。おわび申し上げます。申し訳ございません。〔訂正済〕

○米田貴志委員長

他に質疑はございませんか。

○海老原友子委員

初歩的な質問をしようと思っていたんです。骨格予算にも暫定予算にもないものが

頂いた資料の中に上げられているのはなぜかなと思っていたんですけれども、西田委員の先ほどの質問で理解できました。

ただ、やっぱり万博関連予算のところへんではそのまま変更がないというのと、さきの予算常任委員会でも中井委員が質問したんですけれども、バスの借り上げで1台当たりがすごく高いというようなことを質問したわけなんですけれども、半年間の開催の万博の中で、この辺はまた変更があるのかどうかというのを教えていただいていた方がいいでしょうか。

○長岡英晃学校教育部長

万博のバスの件につきましては、現在、先日の補正予算でも議員の皆さん方から賛同いただいたところでして、今のところ、安全・安心ということを一番に気にしながら、今のところは新市長の下でも御理解いただく中で進めていきたいというふうに考えております。

○米田貴志委員長

海老原委員、今回の内容に従ってよろしくをお願いしておきます。

○海老原友子委員

全体的なんですけれども、骨格予算にも暫定予算にも上げられなかった事業については、新市長の意向、判断ということで、事業として上がっていないところも、今後変わっていくということがあるということですのでよろしいですか。

○米田貴志委員長

海老原委員、今回の暫定予算の中身についての質疑でお願いしたいと思います。よろしいですか。

○海老原友子委員

失礼しました。

○米田貴志委員長

他にございませんか。

〔「なし」の声あり〕

ないようでございますので、議案第34号の質疑を終結いたします。

次に、議案第35号の審査に入ります。

議案の説明を求めます。

○藤原林市民病院事務局長

議案第35号令和7年度岸和田市病院事業会計暫定予算について御説明いたします。

暫定期間を本年4月から5月までと定めた予算案としております。

病院事業会計暫定予算書の3ページをお願いします。第2条では、病床数、入院・外来患者数、主要な建設改良事業の業務量を定めております。

第3条の収益的収入及び支出、第4条の資本的収入及び支出につきましては、後ほど予算に関する説明書で御説明いたしますので、ここでは省略させていただきます。

以上が予算の概要でございます。

続きまして、暫定予算に関する説明に入らせていただきます。9ページをお願いします。収入及び支出のうち主なものにつきまして御説明いたします。

まず、収益的収入及び支出のうち収入でございますが、1款病院事業収益に26億3406万3000円の計上でございます。

1項医業収益は、1目入院収益から3目その他医業収益まで、合わせて25億7856万5000円の計上でございます。

2項医業外収益は、1目受取利息及び配当金から9目その他医業外収益まで、合わせて4549万8000円の計上でございます。

10ページをお願いします。収益的支出について御説明いたします。

1款病院事業費用に36億3095万8000円の計上でございます。

1項医業費用は、1目給与費から6目研究研修費まで、合わせて35億4741万6000円の計上でございます。

2項医業外費用は、1目支払利息及び企

業債取扱諸費から7目雑支出まで、合わせて7254万2000円の計上でございます。

11ページをお願いします。資本的収支について御説明いたします。

まず収入でございますが、1款資本的収入に、1項企業債から6項基金積立金利息まで、合わせて20万2000円の計上でございます。

支出でございますが、1款資本的支出に、1項建設改良費から4項基金積立金まで、合わせて5781万円の計上でございます。

○米田貴志委員長

説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、議案第35号の質疑を終結いたします。

以上で付託議案の質疑を終結いたします。

本日はこの程度にとどめ、予算常任委員会を散会いたします。

(以 上)